

3. 医療と保健、福祉の連携

いつまでも生き生きと
自分らしい暮らしができるまちに

新 今日から始める「健康寿命」事業（健康福祉課）43万4千円

鳥取大学医学部地域医療学講座や日野病院と連携し、健康寿命を延ばす取り組みを進める。生活習慣の改善や運動習慣の定着などを図る健康・運動教室を開き、メタボリックシンドロームをはじめとする健康課題を解消する。

●地域包括ケアシステム構築事業（健康福祉課）165万円

医療・福祉・保健・介護・生活支援などが一体的に提供される「地域包括ケアシステム」を構築することで、地域住民の健康で安心して暮らせる地域の仕組みづくりと健康意識の向上を図る。

●生活交通確保対策事業（企画政策課）500万円

タクシー以外に交通機関を利用することが困難な人を対象に、タクシー運賃補助を行い、病院や買い物など生活に必要な交通手段を確保する。

●簡素な給付措置事業（臨時福祉給付金）（健康福祉課）468万4千円

消費税率の引き上げによる影響を緩和するため、低所得者に対して、暫定的・臨時的な措置として給付金を支給する。

対象者は、平成28年1月1日現在の町在住の住民税非課税者で、支給額は1人3千円

●低所得の高齢者向け給付金（健康福祉課）2,796万9千円 ※平成27年度事業繰り越し分

低所得の高齢者の支援を行うことで、所得全体の底上げを図る。

対象者は、平成27年度臨時福祉給付金の対象者のうち、平成28年度中に65歳以上となる人で、支給額は1人3万円

新 低所得の障害・遺族基礎年金受給者向けの給付金（健康福祉課）919万円

「一億総活躍社会」の実現に向け、賃金引き上げの恩恵が及びにくい低年金受給者へ支援することで、所得全体の底上げを図る。

対象者は、平成28年度臨時福祉給付金の対象者のうち、障害基礎年金または遺族基礎年金を受給している人で、支給額は1人3万円

2. 子育て・教育

家族が安心して
子育てできるまち
将来を担う子どもたちが
のびのびと成長できるまちに

新 子育て世代包括支援センター（健康福祉課）153万6千円

妊娠期から子育て期にわたり、総合的な相談支援と各種の支援サービスを行う。対象世帯ごとに担当保健師を決め、継続的に支援を行うことで、妊娠中の悩みを解消したり、子どもの発達を切れ目なく見守る。これにより、産前・産後の支援体制の充実を通し、家族が安心して子育てできる環境づくりを行う。

新 病児・病後児保育事業（教育委員会）940万3千円

新たに、病児・病後児保育事業を開始するための施設整備費など。施設は日野病院の外来待合棟を改修し、保育場所を確保する。

病気になった子どもや病気が回復期の子どもを預かることで、親が安心して仕事ができる環境を提供する。

●保育料の軽減（教育委員会）

町で子どもを生み、子育てしやすい環境づくりを進めていくために、保育所に通うすべての子どもを対象に保育料の軽減を行う。

▼第1子：基準額の2/3に軽減

▼第2子：基準額の1/3に軽減

▼第3子：給食費相当分の負担 ※3人以上同時入所の場合、3人目から無料

●日野高校魅力向上事業（企画政策課）417万3千円

コーディネーターを配置し、地域や小中学校との連携を図り、日野高校の魅力向上や高校存続を図る。

新 日野中学校 ICT 教育整備事業（教育委員会）1,058万4千円

タブレット端末や電子黒板などを導入し、ICT環境を整備する。これにより、生徒同士の相互作用による「協働学習」の実現と、学習意欲・学力向上を図る。

新 スポーツ指導員の配置（教育委員会）446万2千円

ソフトテニスのスポーツ指導員を設置することで、小・中学生などの競技力向上を図り、児童・生徒の町外流出を防ぐ。

新 日野中学校体育館床改修事業（教育委員会）3,296万9千円

老朽化などで損傷が進んでいる体育館の床を全面改修し、安全な学校生活のための環境整備を図る。

1. 移住・定住 ～ふるさと日野あゆプロジェクト～

生まれ育ったふるさとへ
若者や子どもの声が響くまちに

●移住定住・空き家対策（企画政策課）

①移住定住を促進するため空き家対策を行い、受け入れ態勢を整備する。また、移住者だけでなく若年世帯や子育て世帯をターゲットに住宅支援を行うことで、結婚や新築を契機とした人口流出に歯止めをかける。

▶移住者向け空き家整備費補助金（500万円）

▶家財道具処分支援補助金（80万円）

▶空き家管理人、コーディネーター奨励金（30万円）

▶移住定住促進住宅整備補助金（500万円）

②移住定住コーディネーターの配置（308万7千円）**新**

③移住者受入地域組織・団体創出事業（400万円）**新**

地域の中で移住者のサポートや利用可能な空き家の掘り起し、PR業務、体験イベントの企画実施などを行う。

④移住者の通勤費支援補助金（72万円）**新**

米子市などに通勤する移住者をターゲットに通勤費の支援を行い、移住後の不安を解消し、移住を促進する。

⑤日野町あゆ奨学金（日野高校入学等支援：60万円、小中学生教育支援：180万円）**新**

移住世帯に小中学生、日野高校に入学や転入する高校生がいる場合、または、孫ターンで日野高校や小中学校に通う場合に教育費の一部を支援する。

新 お試し住宅整備事業（企画政策課）249万2千円

町内の空き家を借り上げ、お試し住宅として活用。移住を検討する希望者に対し、日野町の生活環境や雰囲気を実際に体験してもらい、移住に対する不安の解消、移住への決断を促す機会を提供する。

●世帯向け定住住宅建設事業（産業振興課）4,731万6千円

野田地区に平成27年度に続き、町外から転入する世帯向けの受け皿としての住宅を2棟建設。子どもがいるなどの若者世帯を呼び込むことで、人口減少に歯止めをかけ地域の活性化を図る。



新 「ふるさと住民票」制度運営事業（企画政策課）59万7千円

昨年度末に制度がスタートした「ふるさと住民票」を本格的に運用し、登録事務、町広報紙などの「ふるさと便（仮称）」の発送、町特産品のモニターやパブリックコメントなど、まちづくりへの参加や町民との交流会を開催する。「外の視点」でまちづくりに参加してもらうことで、ふるさと納税や、将来的にUターン、孫ターンによる定住に結び付ける。

テーマ

主な事業

「きらり日野町創生戦略」の本格始動 移住定住・子育て支援・医療と保健、福祉の連携 日野町今年の「まちなのしごと」

町では、今年度もさまざまな事業を計画しています。主なものを紹介します。

新：新規事業

※「ふるさと日野あゆプロジェクト」の概要は、12-13ページでも紹介しています。